

事業別実績写真

目次

I	交通施設整備	
	①港湾整備（二見港）	1
	②港湾整備（沖港）	2
	③都道改築・舗装	3
	④村道改築・舗装	5
	⑤船舶整備	6
II	産業振興・観光開発	
	①ほ場造成	7
	②農業試験地	8
	③農業協同組合施設	9
	④集出荷施設	10
	⑤営農研修施設	11
	⑥畜産指導所	12
	⑦一時宿泊所兼農業研修施設	13
	⑧水産センター	14
	⑨二見漁港	15
	⑩母島漁港	16
	⑪共同利用施設	17
	⑫自然公園施設	18
	⑬観光施設	21
	⑭一般宿泊施設	22
III	生活基盤施設整備	
	①住宅整備	23
	②簡易水道	25
	③ごみ処理施設	27
	④地域し尿処理施設	28
	⑤と畜場	29
	⑥診療所	30
	⑦保健所出張所	31
	⑧医師住宅	32
	⑨看護婦宿舎	33
	⑩小・中学校整備	34
	⑪体育施設	35
	⑫教職員住宅	36
	⑬高等学校整備	37
	⑭社会体育施設	38
	⑮都市公園	39
	⑯地域福祉センター	40
	⑰保育施設	41
IV	防災・国土保全	
	①河川改修	42
	②砂防	43
	③地すべり	44
V	硫黄島旧島民定住促進事業	
	①硫黄島旧島民定住促進事業	45

事業名	港湾整備（二見港）			
事業概要	本土から隔絶して位置する小笠原諸島の民生の安定と産業の振興を図るため、二見港を本土と同諸島を結ぶ交通の拠点とするとともに、太平洋上最南端における船舶の避難、休憩、補給基地として整備を行い、港湾機能の充実を図る。また、船舶の大型化に対応するため、岸壁（-7.5m）延伸及び貨客分離のための岸壁（-5.0m）を整備し、既存施設の老朽化対策として、岸壁（-7.5m）及び岸壁（-5.0m）の改良を行う。			
事業費 (百万円)	復興事業（44～53）	振興事業（54～63）	振興開発事業（元～10）	11～12
	1,188	871	4,042	544

<父島>



岸壁（-7.5m）



物揚場



船客待合所（海側より）



船客待合所（道路側より）と駐車場



マリーナ（防波堤）



二見港前の道路 左に大神山公園のコミュニティ広場

事業名	港湾整備（沖港）			
事業概要	沖港は、母島の南西部に位置し、小笠原諸島では二見港とともに良港となっている。父島と母島とを結ぶ海上交通施設整備、貨客分離のための岸壁（-4.5m）及び泊地整備が完成し、平成7年度から海岸レクリエーションの振興を目的とした、緑地等施設の整備を行っている。			
事業費 (百万円)	復興事業（44～53）	振興事業（54～63）	振興開発事業（元～10）	11～12
	2,166	4,278	4,038	80

<母島>



沖港全景



漁港



脇浜なぎさ公園



テトラポット



沖港



船客待合所

事業名	都道改築・舗装			
事業概要	<p>都道整備事業は、父島で父島循環線（大村州崎小港線、奥村夜明小曲線）、母島で沖港北港線の2路線である。</p> <p>都道の整備計画は、平成10年度見直しを行い、「島しょ部都道の整備方針」（平成10年7月策定）に基づき、父島循環線の計画幅員は、西町～奥村間を両側歩道の16.0m、奥村～州崎・小港間を片側歩道の9.25m、小曲～奥村間及び奥村～西町（行文線）間を7.0m、長谷～つつじ山間を4.0mとしている。</p> <p>また、沖港北港線は、都営住宅～評議平運動場間を片側歩道の9.25m、評議平運動場～南崎及び都営住宅～蝙蝠谷間を7.0m、蝙蝠谷～北港間を5.0mとしている。</p> <p>舗装整備事業は、父島においてはアスファルトコンクリート舗装、母島においてはセメントコンクリート舗装で施工している。</p>			
事業費	復興事業（44～53）	振興事業（54～63）	振興開発事業（元～10）	11～12
改装 （百万円）	6,022	6,358	4,090	706
舗装 （百万円）	654	579		

<父島>



湾岸通り（村役場前）



湾岸通り（境浦海岸付近）



浜江橋



湾岸通り（二見港付近）

事業名

都道改築・舗装

<父島>



湾岸通り (屏風谷付近)



小港道路 (小曲付近)

<母島>



北進線 (北港付近)



北進線 (桑の木山付近)



南進線 (南崎)



長浜トンネル

事業名	村道改築・舗装			
事業概要	<p>村道整備事業は、都道を補完する道路及び地域の生活に密着した道路として整備している。集落別に大別して、父島で大村・奥村地域線、扇浦地域線、母島で沖村地域線の3路線である。幅員は4.0m～6.0mで計画されている。</p> <p>村道整備事業のうち、舗装工事は父島についてはアスファルトコンクリート、母島はアスファルト乳剤混合物をもって施工している。</p>			
事業費	復興事業 (44～53)	振興事業 (54～63)	振興開発事業 (元～10)	11～12
改装 (百万円)		1,317	1,336	270
舗装 (百万円)		132		

<父島>



村道整備 (東町一号線)



村道整備 (宮之浜線)

<母島>



村道整備 (沖村八号線)

事業名	船舶整備			
事業概要	東京・父島間は「父島丸」(小笠原海運株式会社)、父島・母島間は「第二弥栄丸」(伊豆諸島開発株式会社)により、人員、物資の輸送に当たっていたが、昭和53年度に新船を建造し、両航路とも昭和54年4月から新船が就航した。更に平成8年度には東京・父島航路の新船を建造し、平成9年3月から新船が就航している。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
	2,549		5,547	

<父島>



おがさわら丸

<母島>



ははじ丸

事業名	ほ場造成			
事業概要	小笠原諸島振興開発事業の主目的である帰島促進と生活安全及びその基幹産業としての農業生産の拡大を図るため、土地利用計画に定める農業地域を対象とし、帰島して農業を営もうとする旧島民等の申請に基づき、農用地造成事業を実施し併せて農業用水の確保と農道の整備を行う。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
	855	1,729	1,582	335

<母島>



評議平



評議平



中ノ平



中ノ平

事業名	農業試験地			
事業概要	農業試験地は、小笠原諸島における農業振興の拠点として、適作目の選定・優良種苗の育成・病虫害防除等の試験研究と帰農者の営農指導を目的に設置し事業に取り組んでいる。そのための事業推進に必要な施設の整備拡充を逐次実施している。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
	194	315	1,081	21

<父島>



亜熱帯農業センター



亜熱帯農業センター



亜熱帯農業センター



亜熱帯農業センター



亜熱帯農業センター



亜熱帯農業センター (本館)

事業名	農業協同組合施設			
事業概要	農家中核的共同組織である農協の育成強化を行い、これと併せて農協施設の拡充を促進し、農協活動を通じて農家の経営安定と農業の振興を図っている。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元 ~ 10)	11 ~ 12
	19	162	508	225

〈父島〉



JA 父島



農協・パパイヤマート



ラスハウス

〈母島〉



JA 母島

事業名	集出荷施設			
事業概要	農作物の流通の安定化と集出荷作業の能率化を推進し、農家経営の向上を図っている。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
	76	208	121	

〈母島〉



集出荷施設

事業名	営農研修施設			
事業概要	農業技術の研修教育施設を整備し、農業者の育成のための研修の実施と将来性ある農作物の導入と定着化を図るための展示を実施している。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
	45	85	114	

〈母島〉



営農研修所



営農研修所



営農研修所



営農研修所



営農研修所

事業名	畜産指導所			
事業概要	有畜農業に意欲のある母島地区農業者に対し、肉牛の飼養技術及び飼料作物栽培技術を実証指導することにより、小笠原諸島全体の肉牛の飼養頭数の増加を促進し、堆厩肥生産による耕地の地力増進並びに農家経営の安定を図る。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
		199	105	6

〈母島〉



畜産指導所 (牛舎)



畜産指導所

事業名	一時宿泊所兼農業研修施設			
事業概要	旧島民が帰島したときの一時宿泊又は復興開発のための研修を目的として、昭和44年度に父島の奥村地区に建設された。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	復興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
	◇ 18 ◇			

〈父島〉



旧島民一時宿泊施設

事業名	水産センター			
事業概要	漁業技術の改良普及、水産資源の調査研究、有用魚種の種苗化、畜養殖技術の開発、水産加工等に関する調査、試験及び指導等を行い、漁業経営の効率化を図っている。そのための事業推進に必要な施設の整備拡充を逐次実施している。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
	39	229	1,126	308

〈父島〉



水産センター



水産センター



水産センター



水産センター



水産センター

事業名	二見漁港			
事業概要	二見漁港は、昭和45年6月に第4種漁港に指定された天然の良港である。本土より遠隔地にあるため、地元の漁船ばかりでなく、小笠原諸島海域で操業する他県漁船の避難拠点としても利用されるもので、漁港の基本施設に合わせて、避難、補給等の施設も整備するものである。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44～53)	振興事業 (54～63)	振興開発事業 (元～10)	11～12
	1,999	1,672	2,266	204

〈父島〉



二見漁港



二見漁港 (全景)



二見漁港



二見漁港



二見漁港



二見漁港

事業名	母島漁港			
事業概要	母島漁港は、昭和63年3月に第4種漁港として指定された漁港である。本港は、母島の北部に位置し、東向きの湾をもっており、冬季の季節風の影響を受けない天然の良港である。このため、地元漁船の通年における安定した操業を可能とし、また、他県漁船の安全な避難を確保するため、防波堤、泊地及び船揚場を整備する。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44～53)	振興事業 (54～63)	振興開発事業 (元～10)	11～12
			2,614	1,054

〈母島〉



東港

事業名	共同利用施設			
事業概要	沿岸漁業を主体とした漁業振興を図り、漁民の所得向上と生活の安定を図るため、漁業生産基盤である共同利用施設を整備する。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
	225	2,313	2,143	316

〈父島〉



父島漁協事務所



漁業施設 (父島)

〈母島〉



母島漁協事務所



漁業施設 (父島)



漁業施設 (母島)



漁業施設 (母島)

事業名	自然公園施設			
事業概要	小笠原諸島の自然の適切な利用と観光開発の促進を図るため、園地、歩道、情報施設、海中公園等の各種利用施設を整備拡充するとともに老朽化した施設の改修と自然環境の保護のため、植生の回復を行う。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元 ~ 10)	11 ~ 12
	281	635	1,290	363

<父島>



宮之浜園地



三日月山園地



境浦園地



小港園地



コペペ浜園地



中央山園地

<母島>



御幸之浜園地



沖村園地

<父島>



電信山線歩道



初寝線歩道



海岸線歩道（中山峠）



海岸線歩道（高山・南崎分岐点）

事業名

自然公園施設

<父島>



海岸線歩道（中山峠付近）



電信山線歩道（長崎付近）

<母島>



乳房山歩道入口



遊歩道（御幸之浜）



鮫が崎歩道



遊歩道（鮫が崎付近）

事業名	観光施設			
事業概要	史跡や戦跡を整備することによって、村民及び観光客のための憩いの場を確保し、観光開発を図る。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
			◇ 15 ◇	

<母島>



石次郎海岸



石次郎海岸



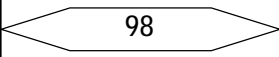
石次郎海岸



石次郎海岸



石次郎海岸

事業名	一般宿泊施設			
事業概要	返還後、民間の宿泊施設が皆無であったため村経営の一般宿泊施設を建設、運営したが、民間の宿泊施設が開業増加し、その使命を達成したので昭和54年度から休館している。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
				

〈父島〉



三日月荘

事業名	住宅整備			
事業概要	<p>復興計画の基本方針に基づいて、旧島民の帰島の促進と生活基盤整備のため、昭和44年度から平成11年度にかけて、父・母島に合計74棟393戸の住宅を建設し、あわせて、集会所・物置・公園等の必要な生活関連施設を整備した。</p> <p>昭和47年度及び昭和48年度に建設した簡易耐火構造の住宅については、専用面積が狭く1階に就寝室がないために、昭和62年度から平成元年度までに増築方式による住宅改善を実施している。</p> <p>また、平成11年度には、小笠原諸島における島民の高齢化対策として、父島において「シルバー・ハウジング・プロジェクト」をモデル実施した。</p>			
事業費 (百万円)	復興事業 (44～53)	振興事業 (54～63)	振興開発事業 (元～10)	11～12
	2,821	424	2,566	529

<父島>



都営住宅 (全景)



都営住宅



都営住宅



都営住宅二見台アパート

事業名

住宅整備

<母島>



都営住宅（全景）



都営住宅



都営住宅



都営住宅

事業名	簡易水道			
事業概要	小笠原村第2次総合計画（平成5年12月）において、平成15年における目標人口が父島2,500人、母島500人と設定されているため、既存施設の増補改良、新集落地区整備に重点を置く。 現施設では、1日最大給水量で父島1,100 m ³ /日、母島400 m ³ /日の供給が可能であり、目標人口に対応できる能力を持っている。			
事業費 (百万円)	復興事業（44～53）	振興事業（54～63）	振興開発事業（元～10）	11～12
	2,443	720	1,072	141

<父島>



時雨ダム



小曲ダム



境浦ダム



連珠ダム



扇浦浄水場

事業名

簡易水道

<母島>



乳房ダム



沖村浄水場

事業名	ごみ処理施設			
事業概要	小笠原村では、父島に昭和46年度、母島に昭和49年度、それぞれバッチ焼却式焼却炉が整備された。その後、父島では施設が老朽化したため、平成10年度にダイオキシン対策の清掃工場が整備された。母島では平成14年度からの運用開始を目指して、中間処理施設の整備をすすめている。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44～53)	振興事業 (54～63)	振興開発事業 (元～10)	11～12
	41	7	1,561	853

〈父島〉



父島クリーンセンター



父島クリーンセンター

〈母島〉



焼却場 (母島)



旧焼却場 (父島)



焼却場 (母島)



焼却場 (母島)

事業名	地域し尿処理施設			
事業概要	し尿処理施設については、良好な環境衛生の保持、水質汚濁の防止を図るため、集落地域を重点的に整備し、現在に至っている。 父島施設については、老朽化等により処理能力に限界を来しているため、現在管理棟の改良事業を展開している。母島施設については、設備改良事業が平成7年までに完了している。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
	1,509	642	1,748	710

〈父島〉



し尿処理場

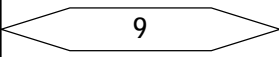
〈母島〉



し尿処理場



し尿処理場

事業名	と畜場			
事業概要	村立と畜場として昭和45年10月1日に開設した。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
				

〈父島〉



と畜場

事業名	診療所			
事業概要	<p>父島では、返還当初に米国から引継いだ診療所の老朽化に伴い、昭和52年度父島清瀬地区に鉄筋コンクリート造の診療所を建設した。また、奥村地区に医師住宅2棟を建設した。母島診療所は、昭和46年に建設し、昭和47年10月に開設したが、老朽化が著しく、また非常に狭小であるため医療技術の進歩に伴った器財を収容するスペースもなく、高齢化等の新たな医療に対応することが出来なため、平成2年度より母島診療所の建て替え計画を進め、平成6年4月に竣工した。</p> <p>平成9年度に父島の発電設備は老朽化による改良工事を実施した。</p>			
事業費 (百万円)	復興事業 (44～53)	振興事業 (54～63)	振興開発事業 (元～10)	11～12
	433	53	844	



父島診療所



父島医師住宅



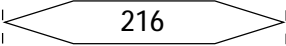
母島診療所



旧診療所(母島)



母島医師住宅

事業名	保健所出張所			
事業概要	小笠原諸島住民の公衆衛生の維持向上を図る中心的機関として、島しょ保健所小笠原出張所庁舎を新設した。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
	 216			

〈父島〉



保健所

事業名	医師住宅			
事業概要	父島診療所の医師の住宅を確保するため、医師住宅1棟を整備した。(昭和59年度以前の医師住宅整備については、「診療所建物」において行っていた。)			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
	60		47	

〈父島〉



医師住宅

〈母島〉



医師住宅

事業名	看護婦宿舎			
事業概要	父島及び母島に診療所を整備して医療の確保を図っているが、昭和56年度には、看護婦の定着化等のため、看護婦宿舎を整備した。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
	69			

〈父島〉



看護婦宿舎

事業名	小・中学校整備			
事業概要	教育の機会均等の主旨から教育内容の充実を目指し、小・中学校を建設した。児童数の増加に伴い校舎の増築を行ってきたが、老朽化の著しくなった母島小中学校の校舎について、16年度を目途に建て替えを行う。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44～53)	振興事業 (54～63)	振興開発事業 (元～10)	11～12
	507	506		4

〈父島〉



小学校



小学校・中学校 (全景)



中学校



中学校

〈母島〉



小・中学校



小・中学校

事業名	体育施設			
事業概要	学校教育の教育効果を促進するため、屋内体育館及びプールを建設した。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
	626			

〈父島〉



小学校

〈母島〉



小・中学校

事業名	教職員住宅			
事業概要	父島に23戸、母島に18戸の教職員住宅が整備されているが、父島において老朽化している住宅の建て替え分4戸を建設した。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44～53)	振興事業 (54～63)	振興開発事業 (元～10)	11～12
	262	170	159	

〈父島〉



教職員住宅 (父島)



教職員住宅 (父島)

〈母島〉



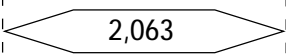
教職員住宅 (母島)



教職員住宅 (母島)



教職員住宅 (母島)

事業名	高等学校整備			
事業概要	教育の機会均等の主旨から教育内容の充実を目指し、高等学校の校舎を移転改築する。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
	 2,063			

〈父島〉



高校 (全景)



高校



高校

事業名	社会体育施設			
事業概要	父島にテニスコート3面、ゲートボールコート1面、グラウンド、母島にテニスコート2面、グラウンドを整備している。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
	375		259	

〈父島〉



奥村運動場 (全景)



奥村運動場

〈母島〉



評議平運動場 (母島)



奥村運動場 (父島)



評議平運動場 (母島)



評議平運動場 (母島)

事業名	都市公園			
事業概要	大神山公園は、丘陵地で緑地保全的な機能を持つ大神山地区と、二見湾に面する海浜平坦地の大村中央地区からなる。大神山地区は、一部を除き56年度に開園している。大村中央地区は、56年3月に大神山公園の追加区域として計画変更され、昭和62年度にビジターセンターを含む一部を開園し、整備を行っている。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44～53)	振興事業 (54～63)	振興開発事業 (元～10)	11～12
	122	1,482	711	125

〈父島〉



ビジターセンター



大神山公園 (休憩舎)



大神山公園



大神山公園



大神山公園 (冒険広場)



駐車場

事業名	地域福祉センター			
事業概要	村の地域福祉機能の維持と高齢者福祉対応を図ることから、父島村民会館機能及び高齢者福祉機能を兼ねた地域福祉センターを整備する。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
	264		1,506	

〈父島〉



地域福祉センター



旧村民会館



地域福祉センター (全景)

〈母島〉



公園 (村民会館前)



母島村民会館

事業名	保育施設			
事業概要	父島村民会館発足と同時にその施設の一部を利用して開設された保育室は、昭和52年度までへき地保育所の指定を受けて運営されてきた。 この間、要措置児童の急増に対応するため、昭和52年度において、村民会館敷地内に保育所を建設し、認可保育所として昭和53年度から開設した。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
	139			

〈父島〉



幼稚園

事業名	河川改修			
事業概要	小笠原諸島の中で、唯一の2級河川ハッ瀬川（父島）は、河床勾配が緩やかで蛇行し、天然河岸の状態で河道が不安定である。このため、洪水時の氾濫防止対策として、河川事業を実施している。また、準用河川である清瀬川（父島）に沿った平地は、村道及び住宅地に利用されているが、集中豪雨時には水害がしばしば発生している。このため、水路断面を大きくし、水害を防ぐため河川の整備を行う。			
事業費 (百万円)	復興事業（44～53）	振興事業（54～63）	振興開発事業（元～10）	11～12
	62	100	107	9

〈父島〉



ハッ瀬川



清瀬川



清瀬川



清瀬川



清瀬川

事業名	砂防			
事業概要	小笠原諸島の溪流は急峻なうえ、戦中・戦後を通じ荒廃するままに放置されていた。このため流出土砂が河道を埋没させ、わずかな降雨でも洪水や土石流が発生する状況にある。この洪水や土石流から集落を守るため、砂防施設の整備を図る。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
	650	1,352	845	113

〈父島〉



砂防河川 (大村川)



砂防河川 (大村川)



砂防河川 (奥村川)



砂防河川 (時雨川)

〈母島〉



砂防河川 (吹上川)



砂防河川 (大谷川)

事業名	地すべり			
事業概要	平成9年度に実施した調査において、小笠原諸島では地すべり発生の恐れがある箇所が6箇所確認されている。このうち、危険度が高い箇所から順次地すべり防止区域に指定し、抑止抗や集排水施設等の地すべり防止施設の整備を行っている。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
		114	20	30

〈母島〉



地すべり



地すべり



地すべり



地すべり



地すべり

事業名	硫黄島旧島民定住促進事業			
事業概要	硫黄島旧島民のうち、父島・母島に移住希望するものに対し、住居が定まるまでの間、住居施設を提供する。また、父島・母島に農業を目的として移住希望する者に対し農用地を確保するとともに土地利用計画を策定し、農業用地を開発する。			
事業費 (百万円)	復興事業 (44 ~ 53)	振興事業 (54 ~ 63)	振興開発事業 (元~ 10)	11 ~ 12
	94		1,058	



蝙蝠谷農業団地



蝙蝠谷農業団地

アンケート調査票

I 基本事項について

各質問毎に、該当するものに○印を付けて下さい。

Q 1 あなたの年齢は次のどれにあたりますか。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| ① 19歳以下 | ② 20～24歳 | ③ 25～29歳 |
| ④ 30～34歳 | ⑤ 35～39歳 | ⑥ 40～44歳 |
| ⑦ 45～49歳 | ⑧ 50～54歳 | ⑨ 55～59歳 |
| ⑩ 60～64歳 | ⑪ 65～69歳 | ⑫ 70～74歳 |
| ⑬ 75～79歳 | ⑭ 80歳以上 | |

Q 2 あなたの性別はどちらですか。

- | | |
|------|------|
| ① 男性 | ② 女性 |
|------|------|

Q 3 あなたは世帯主ですか。

- | | |
|-------|---------|
| ① 世帯主 | ② 世帯主以外 |
|-------|---------|

Q 4 家族等の状況についてお伺いします。同居人がいる場合はその人数を記入してください。

- | | |
|----------------|------|
| ① 同居人がいる () 人 | ② 単身 |
|----------------|------|

①を選択した人にお伺いします。差し支えなければ、具体的な家族構成を教えてください。(自由回答・複数選択可)

- | | | |
|--------|------|-----------------|
| ① 配偶者 | ② 親 | ③ 子供 () 人 |
| ④ 兄弟姉妹 | ⑤ 親類 | ⑥ その他 () () 人 |

Q 5 あなたのお住まいの島はどちらですか。

- | | |
|------|------|
| ① 父島 | ② 母島 |
|------|------|

Q 6 あなたの小笠原の居住年数について伺います。該当するものに○をつけ、年数を記入してください。

- | |
|--|
| ① 戦前に小笠原に居住していたが本土に疎開し、その後帰島した。
(疎開前 年 帰島後 年) |
| ② 返還後、新たに小笠原に居住している。(居住後 年) |

生活物資の供給体制

〈 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満 〉

物価

〈 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満 〉

島内の交通

〈 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満 〉

医療体制

〈 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満 〉

福祉

〈 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満 〉

文化環境

〈 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満 〉

教育施設

〈 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満 〉

保育施設

〈 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満 〉

防災体制

〈 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満 〉

金融機関

〈 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満 〉

通信サービス

〈 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満 〉

スポーツ施設

〈 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満 〉

電気・ガス・水道

〈 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満 〉

住宅環境

〈 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満 〉

雇用機会

〈 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満 〉

娯楽施設

〈 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満 〉

景観・街並み

〈 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満 〉

(21) 自然環境

〈 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満 〉

(22) 総合

〈 ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満 〉

小笠原での生活で、一番満足していることはなんですか。具体的にお答えください。

()

小笠原での生活で、一番不満を感じていることはなんですか。具体的にお答えください。

()

Ⅲ 振興開発事業について

各質問毎に、該当するものに○印を付けて下さい。

- Q12** 小笠原では、現在、小笠原諸島振興開発特別措置法という他の離島とは異なる法律に基づく小笠原諸島振興開発事業が実施されています。あなたはこのことを知っていましたか。

① 知っていた ② 知らなかった

- Q13** 小笠原諸島振興開発事業のうち交通基盤整備事業についてお伺いします。次の各項目について、あなたの考えに近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

道路（歩道も含む）整備

〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

港湾施設整備

〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

東京との交通アクセス手段改善

〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

父島・母島間の交通アクセス手段改善

〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

交通基盤整備で、あなたが今後一番望むことはなんですか。具体的にお答えください。

()

交通基盤整備で、あなたが一番不要だと感じていることはなんですか。具体的にお答えください。

()

Q14 小笠原諸島振興開発事業のうち産業振興・観光開発事業についてお伺いします。次の各項目について、あなたの考えに近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

農業振興施策

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

水産業振興施策

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

商工業振興施策

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

観光業振興施策

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

観光関連施設整備

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

産業振興・観光開発で、あなたが今後一番望むことはなんですか。具体的にお答えください。

()

産業振興・観光開発で、あなたが一番不要だと感じていることはなんですか。具体的にお答えください。

()

Q15 小笠原諸島振興開発事業のうち生活基盤整備事業についてお伺いします。次の各項目について、あなたの考えに近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

住宅整備

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

生活環境施設整備（水道・し尿処理・ごみ処理）

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

都市公園整備

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

景観に配慮したまちづくり

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

診療所整備

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

急患搬送体制整備

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

コミュニティ施設整備

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

高齢者福祉施設

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

教育施設整備

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

文化・体育施設整備

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

保育施設整備

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

生活基盤整備で、あなたが今後一番望むことはなんですか。具体的にお答えください。

()

生活基盤整備で、あなたが一番不要だと感じていることはなんですか。具体的にお答えください。

()

Q16 小笠原諸島振興開発事業のうち下記の事業についてお伺いします。次の各項目について、あなたの考えに近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

河川改修

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

砂防事業

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

地滑り対策

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

防災体制整備

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

自然保護施策

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

野生山羊対策

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

情報通信整備

- 〈 ① これ以上充実させる必要はない ② もう少し充実させて欲しい 〉
〈 ③ かなり充実させる必要がある ④ よくわからない 〉

これらの事業の中で、あなたが今後一番望むことはなんですか。具体的にお答えください。

()

これらの事業の中で、あなたが一番不要だと感じていることはなんですか。具体的にお答えください。

()

Q17 今まで実施してきた小笠原諸島振興開発事業全般に対して、あなたはどのような評価を持っていますか。

- ① 大変満足している ② まあまあ満足している ③ ふつう
- ④ あまり満足していない ⑤ まったく満足していない
- ⑥ 満足しているものもあれば、満足していないものもある
- ⑦ わからない ⑧ その他 ()

④～⑥を選択した人にお伺いします。不満に思っている点はどのようなところですか。具体的にお答えください。

()

Q18 今後、小笠原諸島における事業は、どのような方向に進むべきだと思いますか。

- ① 今までどおり、施設やインフラの整備などハード事業を中心に事業を実施して欲しい。
- ② 施設やインフラ整備などハード事業も大切だが、様々な振興策や施策などソフト事業もあわせて充実して欲しい。
- ③ これからは、施設やインフラ整備などハード事業よりは、むしろ様々な振興策や施策などソフト事業を中心に事業を実施して欲しい。
- ④ わからない
- ⑤ その他 ()

Q19 小笠原諸島振興開発事業について、何でも結構ですので、自由にご意見をご記入ください。

()

Ⅲ 社会情勢変化と今後の小笠原

Q20 3年後を目標に、小笠原航路にT S L（テクノスーパーライナー）という高速船が導入され、東京・父島間がおよそ16時間程度に短縮される見込みです。このT S Lの運行によって小笠原はどのように変わると考えますか。3つまで選んで○をつけてください。

- ① 人口が増える ② 観光客が増える
- ③ 経済が活性化する ④ 大手資本が入り、乱開発になる
- ⑤ 地価が上がる ⑥ 救急医療が改善される
- ⑦ その他 ()

Q21 将来、航空路が開設された場合、小笠原はどのように変わると考えますか。3つまで選んで○をつけてください。

- ① 人口が増える
- ② 観光客が増える
- ③ 経済が活性化する
- ④ 大手資本が入り、乱開発になる
- ⑤ 地価が上がる
- ⑥ 救急医療が改善される
- ⑦ その他 ()

Q22 T S Lや航空路の開設に向けて、今後、地元の立場からどのような対策が重要になってくると考えますか。以下の項目から選んで、順位をつけてください。

- ① 宿泊施設の整備
 - ② 観光施設の整備
 - ③ 自然保護対策
 - ④ 地価対策
 - ⑤ その他
- 第1順位 () 第2順位 () 第3順位 ()

Q23 あなたの職種に関連して、T S Lや航空路の開設に向けた取り組みを何か行っていますか。

- ① 特段に取り組む予定はない
- ② 取り組む予定である
- ③ 既に取り組んでいる

②または③を選択した人にお伺いします。取り組んでいる（今後取り組む予定も含む）内容について、具体的にお答え下さい。

()

Q24 I T（情報通信技術）社会が到来したと言われています。小笠原におけるI Tの状況について、あなたはどのように感じていますか。

- ① 今のままで十分である
- ② もっとI T環境を整備して欲しい
- ③ よくわからない
- ④ その他 ()

Q25 今後、小笠原においてどのようなIT環境が必要だと思いますか。3つまで選んで○をつけてください。

- ① ADSL、光ケーブルや衛星通信等のブロードバンド環境の整備
- ② ISDN網の整備
- ③ NTTドコモ携帯電話の通話エリア拡大
- ④ NTTドコモ以外の携帯電話の通話開始
- ⑤ i-mode等携帯通信サービスの開始
- ⑥ PHSサービスの開始
- ⑦ 既存のNTT電話回線の音質向上
- ⑧ わからない
- ⑩ その他 ()

Q26 あなたは、小笠原は今後どんな島になっていくべきだと思いますか。具体的にお答えください。

()

Q27 あなたは、小笠原の発展にとって大切なことは何だと思いますか。具体的にお答えください。

()

☆ その他、小笠原に関することについて、何でも結構ですので、自由にご意見をご記入ください。

()

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。